

## アナログプレイヤーの比較試聴(7)

### —モーツアルトを聴く(7)—

#### 1. 始めに

前報(6)に引き続き、アナログプレイヤー3機種と比較試聴を実施していきます。

#### 2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種の試聴経路は前報(1)と同様です。

音源は、モーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も弦楽四重奏です。

**PHILIPS SFX-8579**

モーツアルト 弦楽四重奏曲第 22 番変ロ長調

弦楽四重奏曲第 23 番へ長調

イタリア弦楽四重奏団

#### 3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

**PHILIPS** レーベルの 1972 年録音盤です。

**ZANDEN Model120** 経由の **LINN LP-12** と **Grrad401** では、**RIAA**、正相、第 4 時定数 **High** で聴いていきます。

**ThorenTD124** の再生では、厚みのある音で躍動感がありますが、ディテールの再現に難があります。

**LINN LP-12** の再生では、しっとりと落ち着いたモーツアルトです。イタリアのグループらしく、よく弦を歌わせています。

**Grrad401** の再生では、**LINN LP-12** とよく似た再生パフォーマンスですが、音は太目でディテールの再現で劣ります。

#### 4. まとめ

3機種3様の再生パフォーマンスが確認できましたが、これまでより、よく歌うアナログらしい再生音になっています。

以上